

授業科目名 科目コード	ゼミナールⅢ (Seminar Ⅲ) 263045-14-000					担当教員	栗井 英大 (クリイ ヒデヒロ)		
科目区分	ゼミナール科目	必修・ 選択区分	必修	単位数	2	配当年次	3 年次	開講期	通年
科目特性	課題解決型 AL／外部講師招聘科目								

① 授業のねらい・概要

長岡市には、例えば食料品・機械器具・金属製品・繊維など、他地域に誇れる産業・企業が存在している。しかし、PR不足を主因に、認知度が低い産業・企業も少なくない。その結果、市内企業に就職する学生も限定的である。そこで、長岡市の優れた産業・企業の認知度を高める活動を行う。

まず、統計資料・HP等を参考に、長岡市の産業とその特徴、代表的な企業とその企業の強み、ビジネスモデル等の知識を得る。次に、積極的に企業見学・ヒアリングを行い、現場を見る・聞く・考えることで、産業・企業への理解を深める。その後、それまでの活動内容を基に、産業・企業の誇れる点、すなわち「強み」を探し出し、そのPR手法を検討・実行する。加えて、企業経営・ビジネスモデルに関する知識の深化と実践を目的として、ビジネスプランを自ら構築する演習・発表等を行い、その成果をビジネスコンテスト・起業関連コンテストへ応募することを推奨する。

長岡市の産業・企業の知識習得、「強み」発見、「見える化」の過程を通して、社会人基礎力を高めていく。また、「5つの力」(聴く力・話す力・書く力・考える力・時間力)を鍛え、就職活動に資する力、社会人に必要な基本スキルを高める。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

1 地域社会に貢献する姿勢／2 職業人として通用する能力／3 専門的知識・技能を活用する能力／4 コミュニケーション能力／5 情報収集・分析力を養う。

③ 授業の進め方・指示事項

正当な理由のない遅刻・途中退席は認めない。
学生の意見を取り入れつつ講義を進める。積極的な意見表明を期待する。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

「地域活性化論」、「起業家塾」の受講を推奨する。

⑤ テキスト (教科書)

テキスト指定なし。必要に応じて授業時に資料を配布する。

⑥ 参考図書・指定図書

須田寛（2015）『産業観光ーものづくりの観光』交通新聞社 その他、テーマに関連した参考文献や関連情報を必要に応じ紹介する。
⑦ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安
（i）オープンファクトリーを理解・説明することができる。 （ii）成果発表会に向けた発表資料を作成し、プレゼンテーションを実施することができる。 （iii）活動報告書を作成することができる。

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
（i）オープンファクトリーの理解・説明	新たな手法を用いて、論理展開に必要な調査を実施することができる	自発的に、論理展開に必要な調査を実施することができる	論理展開に必要な調査を実施することができる	指示された範囲で、論理展開に必要な調査を実施することができる	指示された範囲の、論理展開に必要な調査が不十分である
（ii）プレゼンテーションの実施	聴衆を引きつけるプレゼンテーションができる	聴衆に正確に理解されるプレゼンテーションができる	聴衆に理解されるプレゼンテーションができる	聴衆にプレゼンテーションの内容がほとんど理解されない	聴衆にプレゼンテーションの内容が理解されない
（iii）報告書の作成	他人を引きつける報告書を作成することができる	論理が通った報告書を作成することができる	報告書を作成することができるが、一部不足する点がある	報告書を作成することができるが、不足する点がある	報告書を作成できない

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合			30%	30%	30%	10%		100%
（i）オープンファクトリーの理解・説明			10%	10%	10%	3%		33%
（ii）プレゼンテーションの実施			10%	10%	10%	4%		34%
（iii）報告書の作成			10%	10%	10%	3%		33%
フィードバックの方法	初回講義内で、成績評価の方法・基準、講義の進め方等について、具体的に説明するので、出席すること。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
学生の理解度・適性を確認しながら、運営していく。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	ゼミⅢの概要説明 自己紹介	昨年の取組確認	120 分
2	今年の活動内容決定 工場見学準備	ヒアリング先調査、質問検討	120 分
3	工場見学①（予定） 長岡市内製造業	ヒアリングシート作成	120 分
4	工場見学振り返り きもの gottaku 視察準備	ヒアリング先調査、質問検討	120 分
5	きもの gottaku 視察準備	ヒアリング先調査、質問検討	120 分
6	きもの gottaku 振り返り	ヒアリングシート作成	120 分
7	工場見学準備	発表準備	120 分
8	製造業へのアンケート調査	ヒアリング先調査、質問検討	120 分
9	工場見学②（予定） 長岡市内製造業	ヒアリングシート作成	120 分
10	工場見学振り返り 悠久祭出店検討	悠久祭出店準備	120 分
11	工場見学準備	ヒアリング先調査、質問検討	120 分
12	工場見学③（予定） 長岡市内製造業	ヒアリングシート作成	120 分
13	工場見学準備 場見学振り返り	ヒアリング先調査、質問検討	120 分
14	工場見学④（予定） 長岡市内製造業	ヒアリングシート作成	120 分
15	工場見学振り返り ビジネスプランの作成	ビジネスプランの作成	120 分

16	後期の活動内容確認 「工場の祭典」視察準備	ヒアリング先調査、質問検討	120 分
17	「工場の祭典」視察準備	ヒアリング先調査、質問検討	120 分
18	悠久祭準備 製造業へのアンケート調査	悠久祭準備 アンケート票作成	120 分
19	悠久祭準備 製造業へのアンケート調査	悠久祭準備 アンケート票作成	120 分
20	悠久祭準備 製造業へのアンケート調査	悠久祭準備 アンケート票作成	120 分
21	発表会準備（パワポ作成）	発表用パワーポイント作成	120 分
22	発表会準備（パワポ作成）	発表用パワーポイント作成	120 分
23	発表会準備（発表練習）	発表用パワーポイント作成	120 分
24	中間レビュー	発表練習	120 分
25	発表会準備（発表練習）	発表練習	120 分
26	報告書作成	報告書作成	120 分
27	報告書作成	報告書作成	120 分
28	報告書作成	報告書作成	120 分
29	報告書作成	報告書作成	120 分
30	報告書作成	報告書作成	120 分

⑫ アクティブラーニングについて

課題解決型 AL を採用する。

資料調査・企業ヒアリングを基にした発表・ディスカッション等を通じて、学生自ら産業・企業の強み・課題を探求し、製造業の「見える化」案を構築する。

また、ビジネスプランの作成、ブラッシュアップ、ビジネスコンテストへの参加により、ビジネスモデルの知識の実践を目指す。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
平成 15（2003）年 3 月～平成 24（2012）年 6 月まで、(財)新潟経済社会リサーチセンターに在籍。研究員として、新潟県経済の調査分析および業界動向等の調査レポート作成業務に従事した。
実務経験と授業科目との関連性
県内外の地域活性化事例に触れ、各種レポート作成に携わった経験を生かし、長岡地域を活性化すべく、活動を行っていく。